

平成 29 年 3 月 10 日

日本 IFToMM 会議
会員各位

日本 IFToMM 会議
実行委員長
高西 淳夫

2017年度日本 IFToMM 会議シンポジウムおよび総会のお知らせ

日頃は日本 IFToMM 会議の運営にご尽力いただき、誠にありがとうございます。
さて、2017年度のシンポジウムおよび総会を下記の予定で開催致します。万障お繰り合わせ
のうえ、ご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

○ 2017年度日本 IFToMM 会議シンポジウムおよび総会

WEB: <http://www.jc-iftomm.org/japanese/index.html>

日時：平成29年6月9日（金）

会場：東京農工大学・小金井キャンパス Ellipse 3階・多目的ホール

予定行事：（講演件数により変動します）

- 1) シンポジウム： 9：00～17：00
- 2) 特別講演：14：00～15：00 Prof. Corves Burkhard, Dpt. of Mechanism Theory
and Dynamics of Machines, Aachen University, Germany
- 2) 総会： 17：10～17：40
- 3) 懇親会： 18：00～20：00

○シンポジウムの詳細 募集テーマ：募集するテーマは例えば以下の通りです。本会の趣旨に合
致すれば、これら以外でも差し支えありません。新しい領域は大歓迎です。

運動機構：リンク機構，カム機構，歯車機構，伝動機構，減速機，超精密位置決め

機械要素：軸受，アクチュエータ，油空圧機器，弾性ヒンジ，トライボロジー，内燃機関

ロボティクス：移動ロボット，非ホロノミックロボット，パラレルマニピュレータ，

ヒューマノイド，マイクロロボット 医療・福祉機器：手術ロボット，

介助ロボット，人工義手，リハビリ機器，情緒交流，パワーアシスト機器

振動の解析と制御：ロータダイナミクス，モード解析，振動と騒音の低減，非線形振動系

計測と制御：センサ，自律分散制御，学習制御，群ロボットの制御

その他

Young Investigator Fund Best Paper Award:

2005年度より，シンポジウムのさらなる活性化を目指して，下記要領により，若手研究者・
技術者の優秀講演論文を表彰します。奮ってご投稿ください。

受賞資格：シンポジウム講演論文における 35 歳以下（講演論文受付時）の筆頭著者の本会会
員とします。（受賞後の入会も構いません）

論文審査：講演論文受理後，有識者からなる審査委員会の厳正な審査を経て，原則3件の Finalist を決定し，さらにその中からシンポジウム当日の講演発表の審査を経て，受賞者を決定します。

贈賞件数：Best Paper Award 1件を含む Finalist 3件。贈賞内容：賞状，賞牌および賞品 表彰式：本シンポジウムの終了後に開催される2016年度総会にて表彰式を開催します。

日程：講演申し込み締め切り 平成29年4月1日（土）
採択通知 平成29年4月8日（土）
原稿提出締め切り 平成29年5月10日（水）

講演申し込み時の情報：

以下の情報を下記へ電子メールまたはFAXにてご連絡ください。

- (1) 著者（筆頭著者，連名者のフルネーム）名（和英併記）
- (2) 講演者名
- (3) 講演者の生年月日（Young Investigator Awards 資格に該当する講演者）
- (4) 講演題目（和英併記）
- (5) 著者連絡先（E-mail アドレス，電話，FAX）
- (6) 200字程度の概要

講演申し込み先：

E-mail: symposium@jc-iftomm.org (IFTtoMM 専用)

講演原稿の送付方法：

昨年度より，PDF 原稿を電子メールの添付ファイルでご送付いただくこととしました。この際，機種依存のフォントは必ず埋め込んでください。送付先は講演申込みと同じで，下記電子メールアドレスに送付してください。

E-mail: symposium@jc-iftomm.org (IFTtoMM 専用)

皆様ご多忙とは存じますが，FAX または電子メールで結構ですので講演発表の申し込みをお待ちいたしております。

※気早ではありますが，シンポジウム原稿執筆要綱を同封いたしますので，ご活用ください。